



第2回 小名浜港周辺エリアにおける 防災・交通対策協議会



1. はじめに





1.1 協議会の到達目標、運営プログラム（案）

◆全4回の議論を通して、スタジアム整備も含めたエリア開発の視点から、必要な取組事項をハード・ソフト両面から議論を実施。

【防災・交通対策協議会プログラム（案）】

時期	主な議事テーマなど
第1回 2025/10/6（月） 1700～	●キックオフ ●小名浜エリアの現状について ●交通量調査の概要について ●ハワイアンズスタジアム利用者に対するアンケート調査について ●意見交換
第2回 2025/11/10（月） 1030～	●アクアマリンパーク周辺における交通対策の基本的な考え方について ●津波避難対策検討の今後の進め方について ●意見交換
第3回 2025年12月下旬 ～2026年1月 （予定）	●交通量調査の結果について（平日・休日結果） ●調査結果を踏まえた交通混雑対策の方向性について ●アクアマリンパーク周辺のインフラの整備パターンについて ●意見交換
第4回 2026年3月 （予定）	●整備パターンの比較と今後の取組の進め方について ●取組メニューと官民での役割分担について（今後のまちづくりのマスタープラン） ●意見交換



2. アクアマリンパークにおける駐車需要



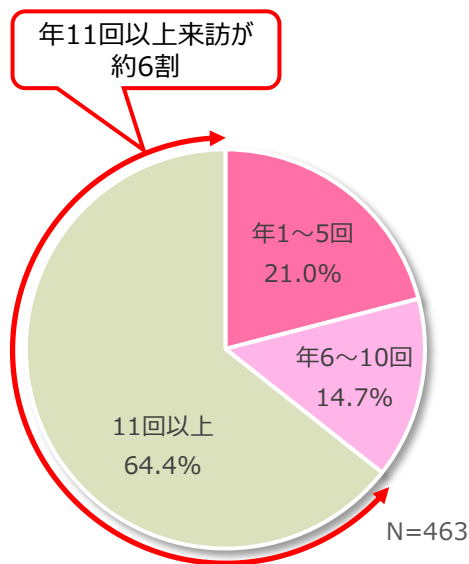


2.1 WEBアンケート調査 集計結果

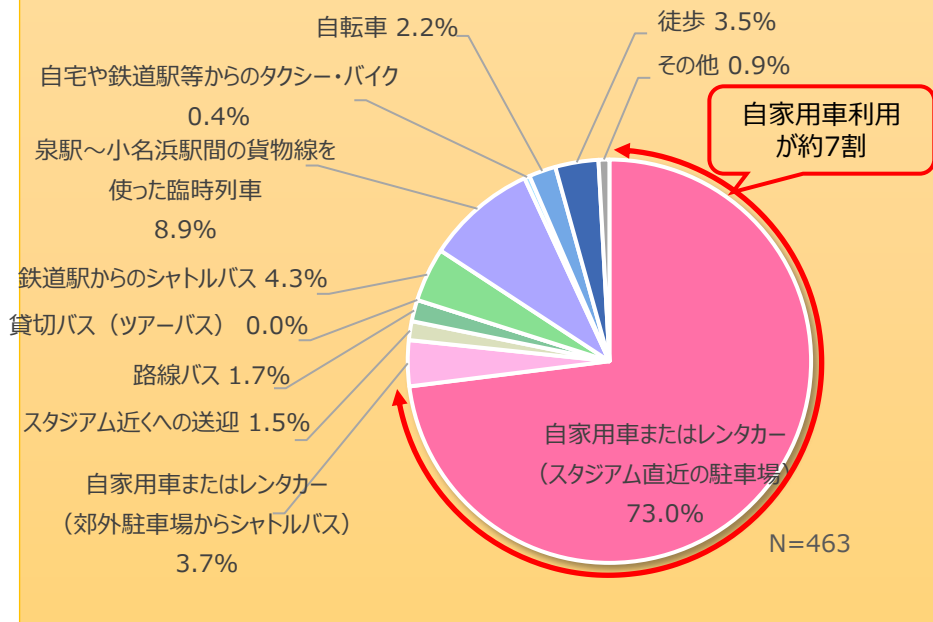
- ◆新スタジアム整備後の年間の来訪頻度については、年11回以上の回答が約6割と最も多い。
- ◆新スタジアム整備後の来訪手段では、自家用車利用が最多で約7割、次いで臨時列車が約1割。
- ◆新スタジアム整備後に近隣駐車場が利用できない場合、来訪頻度が『減少する』と回答した人は4割以上

新スタジアムが整備された場合について

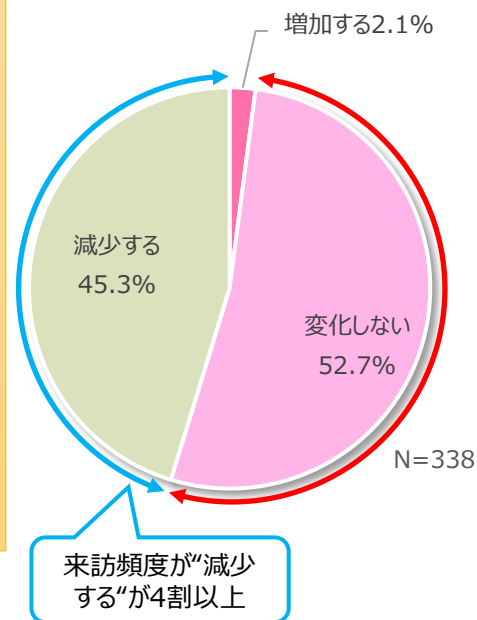
【図9】来訪頻度



【図10】来訪手段



【図11】スタジアム近隣に
駐車できない場合の来訪頻度
※自家用車またはレンタカー(スタジアム近隣の
駐車場)をご利用方のみへの質問



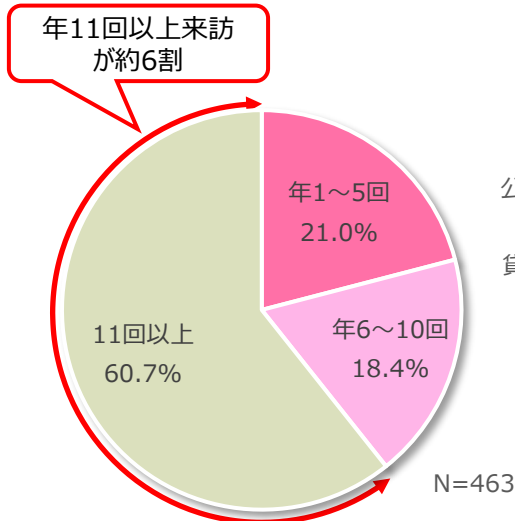


2.1 WEBアンケート調査 集計結果

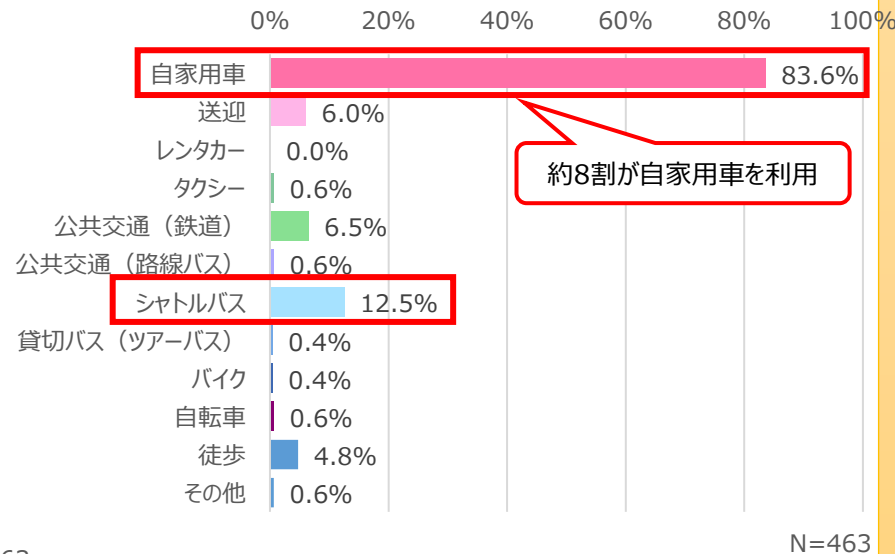
- ◆年間の来訪頻度については、年11回以上の回答が約6割と最も多い。
- ◆来訪者数の約8割が自家用車を利用しており、次いで多い手段としてシャトルバスの利用が約1割を占めている。
- ◆1台あたりの乗車人数は2人が最も多く約5割となっており、1台あたりの平均乗車人数は2.3人。

現スタジアムについて

【図6】来訪頻度

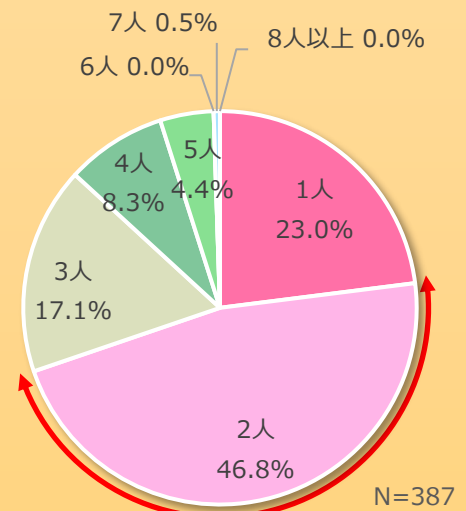


【図7】来訪手段※複数回答



【図8】1台あたりの乗車人数

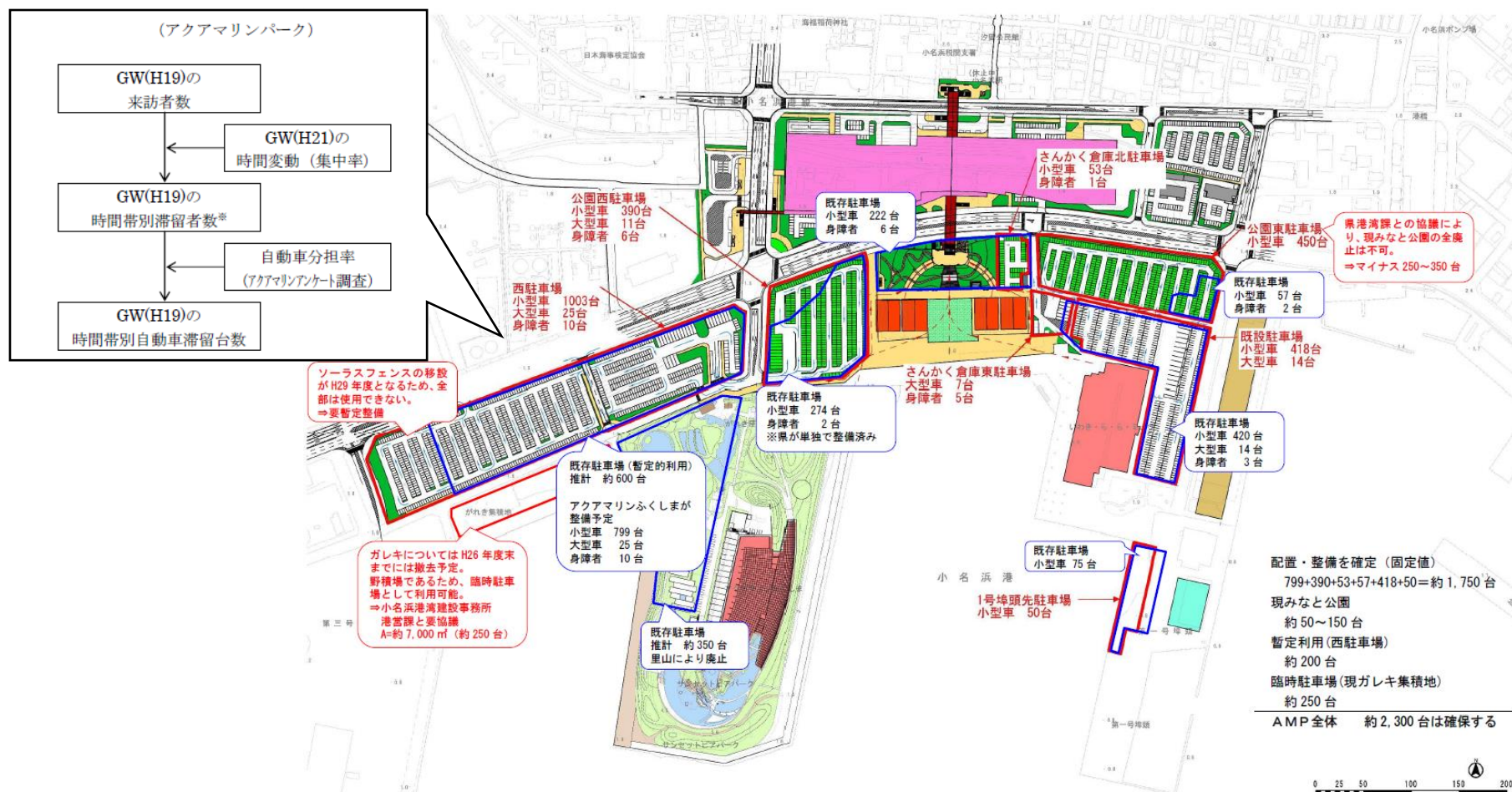
※自家用車とレンタカーを利用する方のみ回答



2.2 アクアマリンパークにおける駐車場現況の計画条件

- ◆現在の駐車場整備台数については、震災前のGWの多客期を想定した整備を実施。
（入込客数は震災やコロナ禍を経て回復傾向にあるものの、震災前までには至らない）
- ◆アクアマリンパーク（以下、AMP）にて2,300台（イオンモール付帯を除く）と整理している。その後イオンモールの付帯駐車場も含めて3,715台の駐車場台数となる。

【AMPにおける駐車場台数の検討結果（当時）】





2.3 アクアマリンパークにおける駐車場の現状

- ◆公園機能との調整もなされ、AMP全体で3,715台の駐車場を整備され、現在に至る。
- ◆W2及びW3がスタジアム候補地となっており、スタジアム整備によって**減少する駐車場台数（868台）**
+αについては、代替機能をAMP内や周辺にて確保予定。

【AMPにおける駐車場現況】

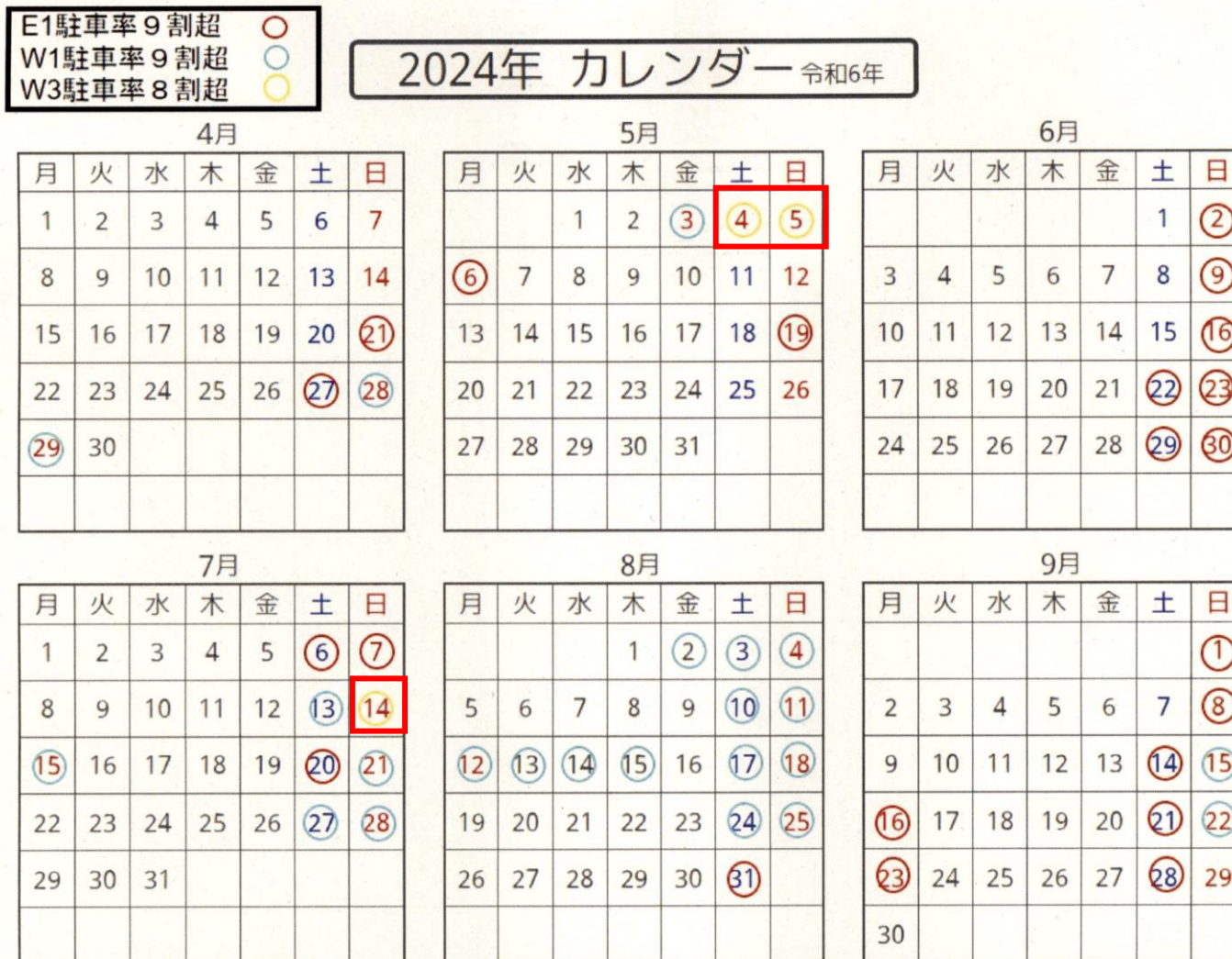
分類	駐車場	台数
既存	E1	452台
	E2	28台
	E3	55台
	E4	149台
	E5	57台
	E6	18台
	E7	419台
	E8	81台
	E9	1122台
	E10	184台
	W1	282台
	W2	107台
	W3	761台
計		3715台
W2・W3除く		2847台





2.3 アクアマリンパークにおける駐車場の現状

- ◆GWといった大型連休では、W3も満車近くまで運用（≡現状の整備目標）
- ◆通常の週末であればE1ならびにW1の利用が中心。





2.3 アクアマリンパークにおける駐車場の現状

- ◆AMP内の駐車場については、増加してきた駐車需要に対応するために拡張を行ってきた経緯もあり、**臨**
港道路1号線以南の駐車場を中心に動線が複雑となっている。
- ◆また、空満情報の提供もイオンモールに付帯するE9・E10駐車場を除いて実施されていないことから、施
設近傍への駐車需要を原因とする駐車場内のうろつき交通が発生するなど、**利用者にとっての利便性の**
低下を引き起こしている懸念がある。
- ◆週末を中心に、W3駐車場の利用促進策が行われるなど、各駐車場利用の平準化に向けた取組が行
われている。

【AMPにおける駐車場動線】



【W3駐車場の利用促進】



小名浜まちづくり市民会議

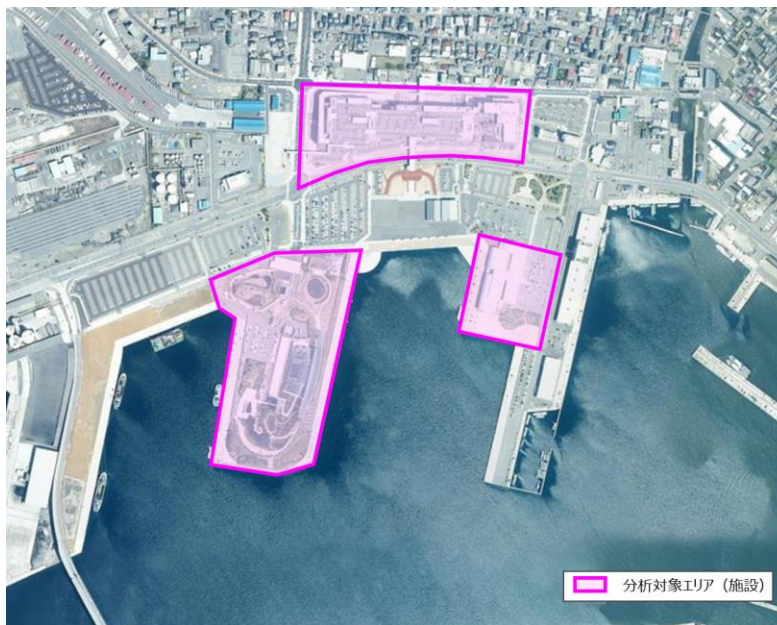


2.4 アクアマリンパークにおける入込客数の状況

◆AMPにおいて、GW期間の来訪者数が最も多く、月平均では8月、7月の順に多くなっている。冬期は来訪者が少ない傾向となっている。

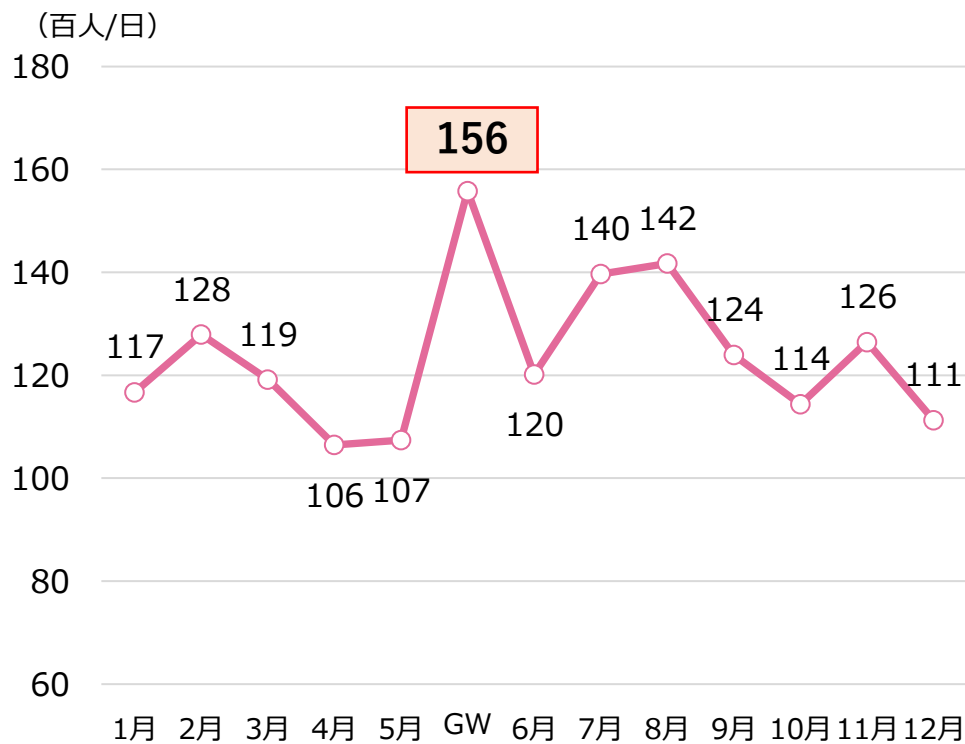
◆人流データ出力条件

項目	条件
エリア	・イオンモール小名浜 ・いわきら・ら・ミュウ ・アクアマリンふくしま
年次	2024年1月～12月
平日・休日	休日
出力データ	日別来訪者数



出典：国土地理院地図

【AMPにおける日別来訪者数】



出典：マチレポ

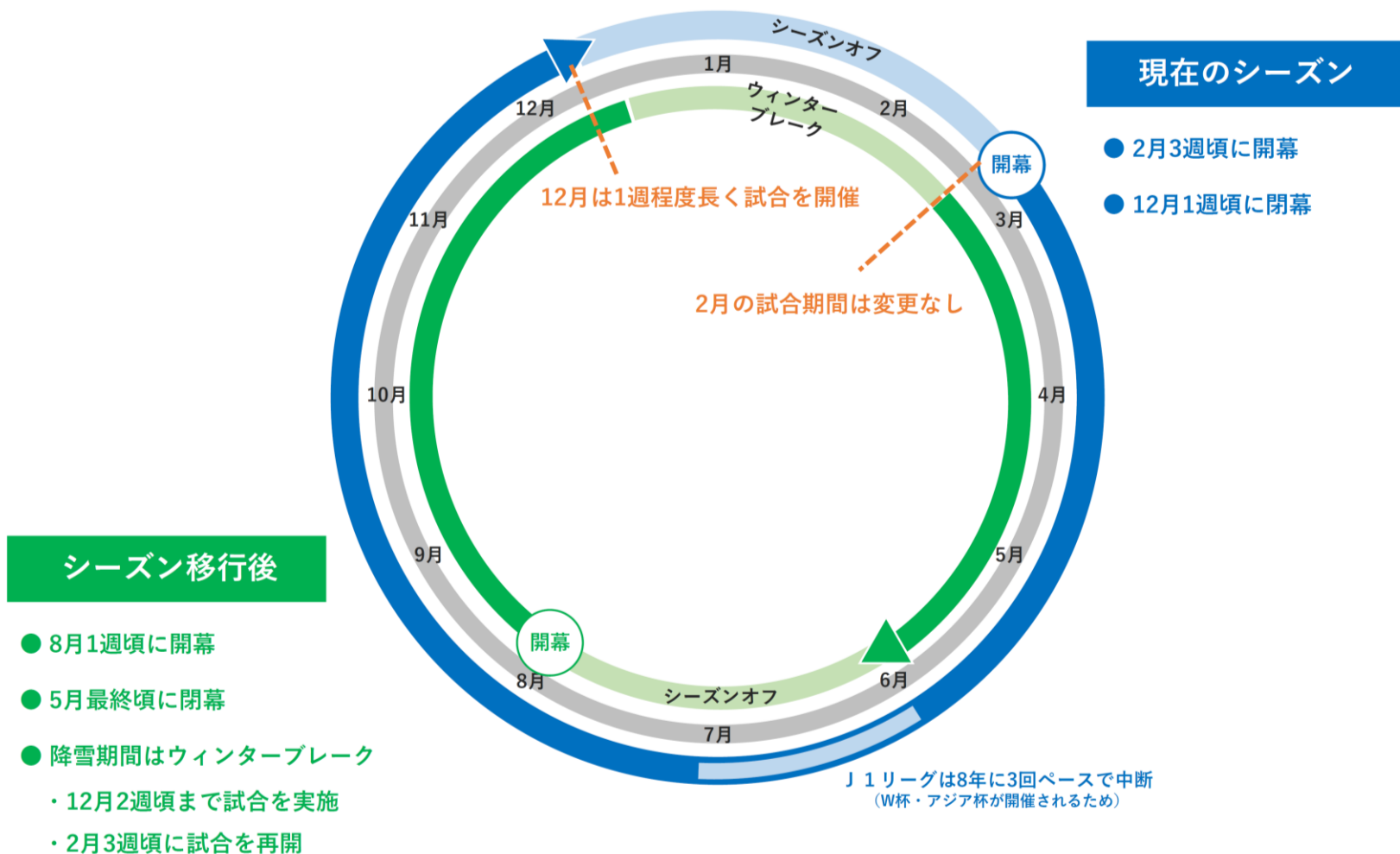
※2024/8/3は花火大会で特異値となるので、8月集計からは除外
※GWは、2024/4/27～29、5/3～6



2.5 Jリーグのシーズン移行について

- ◆ Jリーグは、2026/27シーズンより試合開催期間を変更することを決定。
- ◆ シーズン移行後は、8月上旬開幕、1～2月のウィンターブレイクを挟み、5月下旬閉幕とされている。

シーズン移行後のリーグ試合日程【概要】

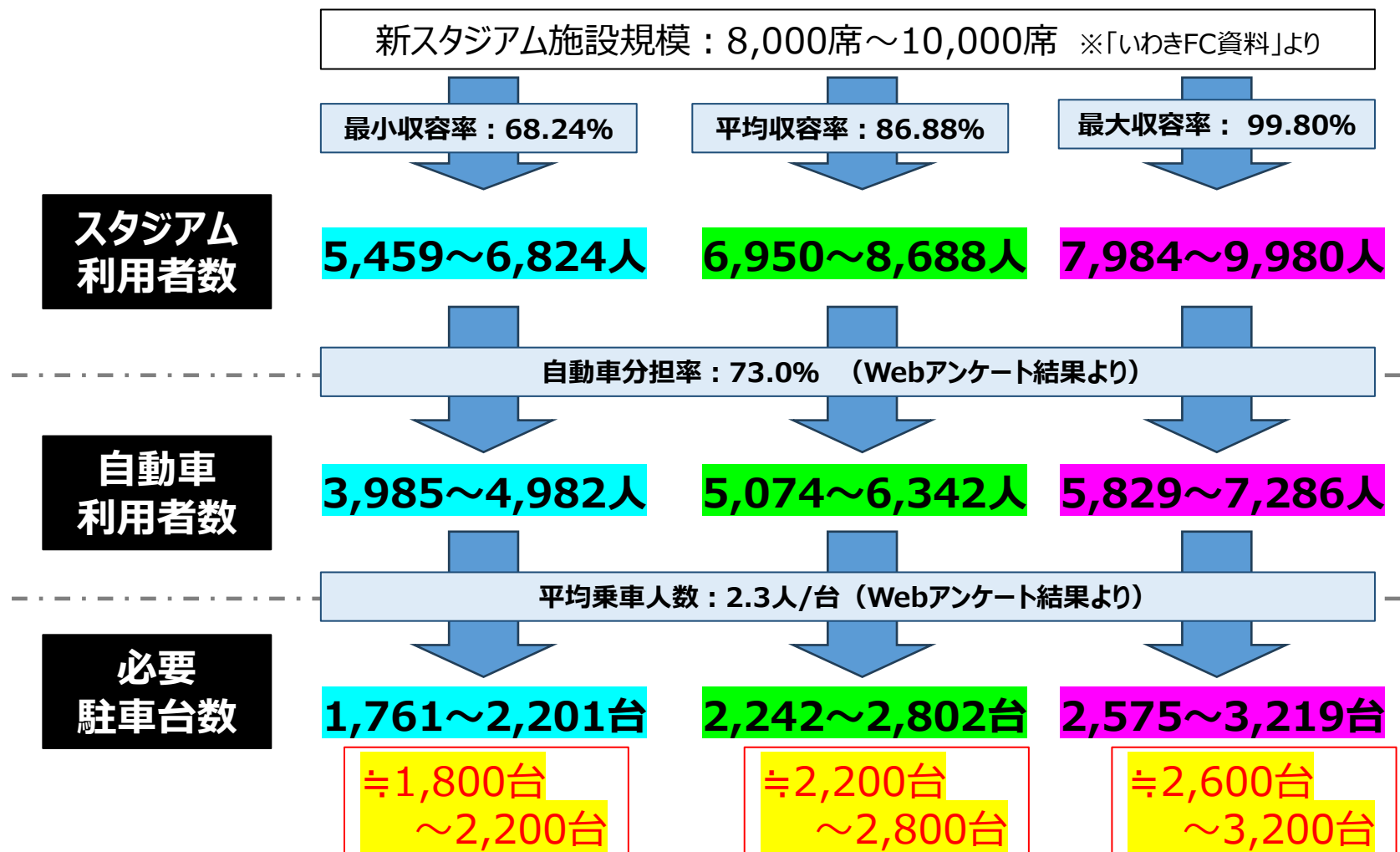




2.6 アクアマリンパーク周辺における新規駐車場の需要整理

◆新スタジアムを8,000席～10,000席とすると、観戦者向けに1,800台～3,200台程度の駐車場の確保が必要と試算される。

【新スタジアム整備に関わる必要駐車台数】

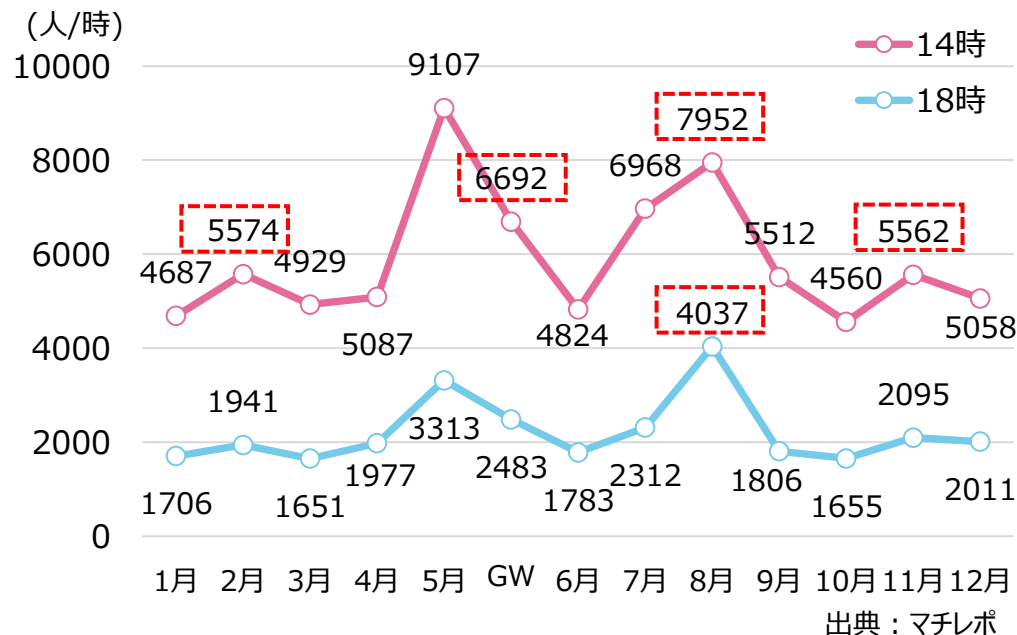




2.6 アクアマリンパーク周辺における新規駐車場の需要整理

- ◆サッカーの試合開始時刻は、**デーゲームで14時頃**、**ナイトゲームで18時頃**が多く、AMPの主要施設の来訪者数も踏まえると、デーゲームの試合開始時点（**14時前後**）が**駐車台数のピークと想定**。
- ◆14時台の来訪者数をシーズン別に見ると、**ゴールデンウィーク（GW）がピーク**となっている。

【AMP主要3施設における来訪者数】



	冬 1～3月	春 4～6月	GW	夏 7～9月		秋 10～12月
	14時	14時	14時	14時	18時	14時
最大	5,574 (2月)	6,692 (5月)	9,107	7,952 (8月)	4,037 (8月)	5,562 (11月)
平均	5,063	5,534	9,107	6,811	2,718	5,060

※アクアマリン、ら・ら・ミュウ、イオンの3施設合計

※最大は各季節の最大月の人数、平均は各季節の3か月平均人数

【いわきFCのホームゲーム試合開催実績】

対戦	開催日	曜日	キックオフ
岡山	3/3	日	13:00
鹿児島	3/9	土	14:00
山形	3/24	日	14:00
藤枝	4/3	水	19:00
清水	4/13	土	16:00
新潟	4/17	水	19:00
千葉	5/3	金・祝	16:00
山口	5/12	日	13:00
徳島	5/26	日	14:00
仙台	6/2	日	13:00
甲府	6/16	日	16:00
横浜FC	6/29	土	18:00
大分	7/6	土	18:00
秋田	8/4	日	18:00
愛媛	8/10	土	18:00
熊本	8/25	日	18:00
長崎	9/15	日	16:00
栃木	9/29	日	15:30
水戸	10/26	土	13:50
群馬	11/10	日	14:00



2.6 アクアマリンパーク周辺における新規駐車場の需要整理

- ◆現状ピークのGW14時台を満車状態として、人流データによるシーズン別・時間帯別来訪人数により、各シーズンの試合開始時刻におけるAMP駐車場利用台数を推定。

【AMP駐車場利用台数の推定】

人流データより、
時間帯別（14時または18時）に
AMPに来訪した人数を季節別に算出

GWの来訪者が最も多いため、GWを
100%として、他季節の来訪人数を割
合に変換

GWの駐車場利用台数を現状での満車
状態（3,715台）とし、各季節ごとの駐
車台数を試算

来訪人数（人/時）

	夏	秋	冬	春	GW
	18時	14時	14時	14時	14時
来訪人数	4,037	5,562	5,574	6,692	9,107

※各季節の最大月の人数

出典：マチレポ

GWを最大(1.0)として割合に換算

来訪人数割合
(%)

	夏	秋	冬	春	GW
	18時	14時	14時	14時	14時
来訪人数割合	44.3%	61.1%	61.2%	73.5%	100.0%

最大駐車場台数を3,715台として、
駐車場台数を試算

AMP駐車場利用台数（台）

MAX

3,715

	夏	秋	冬	春	GW
	18時	14時	14時	14時	14時
駐車場台数	1,647	2,269	2,274	2,730	3,715

※シーズン別の試合開始時刻として、夏は18時、それ以外は14時を対象に算定



2.6 アクアマリンパーク周辺における新規駐車場の需要整理

- ◆シーズンを通して、最小収容想定ナイトゲーム以外では、基本的に駐車容量が不足。
- ◆特にGWでは現状でのAMP内駐車場に余力がなく、サッカー観戦者分がそのまま不足。GW以外でも、デーゲームにおいては、収容状況により上下するが300台～2,200台の不足が発生。

【AMPにおける駐車場利用現況及びスタジアム整備後の必要駐車台数の推計】

※現AMP駐車場規模：3,715台

AMP駐車場利用台数試算（台）		MAX				3715
	夏	秋	冬	春	GW	
	18時	14時	14時	14時	14時	
駐車場台数	1,647 (2068余裕)	2,269 (1446余裕)	2,274 (1441余裕)	2,730 (985余裕)	3,715	

【新スタジアム8,000席ケース】

【新スタジアム10,000席ケース】

AMP駐車場利用台数試算（台）				MAX	3715
+ 最小収容〈1,800台（8,000席の場合）〉					
	夏	秋	冬	春	GW
	18時	14時	14時	14時	14時
駐車場台数	3,408	4,030 (315不足)	4,035 (320不足)	4,491 (776不足)	5,476 (1761不足)

AMP駐車場利用台数試算（台）				MAX	3715
+ 最小収容〈2,200台（10,000席の場合）〉					
	夏	秋	冬	春	GW
	18時	14時	14時	14時	14時
駐車場台数	3,848	4,470 (755不足)	4,475 (760不足)	4,931 (1216不足)	5,916 (2201不足)

AMP駐車場利用台数試算（台）				MAX	3715
+ 平均収容〈2,200台（8,000席の場合）〉					
	夏	秋	冬	春	GW
	18時	14時	14時	14時	14時
駐車場台数	3,889 (174不足)	4,511 (796不足)	4,516 (801不足)	4,972 (1257不足)	5,957 (2242不足)

AMP駐車場利用台数試算（台）				MAX	3715
+ 平均収容〈2,800台（10,000席の場合）〉					
	夏	秋	冬	春	GW
	18時	14時	14時	14時	14時
駐車場台数	4,449 (734不足)	5,071 (1356不足)	5,076 (1361不足)	5,532 (1817不足)	6,517 (2802不足)

駐車場利用台数試算（台）				MAX	3715
+ 最大収容率〈2,600台（8,000席の場合）〉					
	夏	秋	冬	春	GW
	18時	14時	14時	14時	14時
駐車場台数	4,222 (507不足)	4,844 (1129不足)	4,849 (1134不足)	5,305 (1590不足)	6,290 (2575不足)

駐車場利用台数試算（台）				MAX	3715
+ 最大収容率〈3,200台（10,000席の場合）〉					
	夏	秋	冬	春	GW
	18時	14時	14時	14時	14時
駐車場台数	4,866 (1151不足)	5,488 (1773不足)	5,493 (1778不足)	5,949 (2234不足)	6,934 (3219不足)

※1～2月はウィンターブレイクのため、試合は開催されない見込み 15



2.7 アクアマリンパークにおける駐車場整備に関する認識

【施設レイアウトについて】

＜現状＞

- 各駐車場に至る動線が複雑であり、空満情報の提供も一部の駐車場にとどまる
- 施設近傍への駐車が出来ないことから、満車との誤解を利用者に与えるケースも想定されている
⇒利用者ニーズに十分に答えきれていない、既存の駐車場台数を十分に活用できていない懸念

＜駐車場機能再構築の考え方＞

◆駐車場台数を効率的に活用するために必要な取組

- 周辺の道路混雑緩和に向けた**駐車動線の集約**
- 駐車場入出庫管理システム**による季節やイベントに応じた駐車場運用ができる仕組みの構築 等

【駐車場台数について】

＜現状＞

- GW等ピーク時期を除き、現状の駐車場には余裕あり
- 新スタジアム10,000席とした場合、平均的な試合での駐車場の不足分は700台～2,800台程度

＜駐車場台数確保の考え方＞

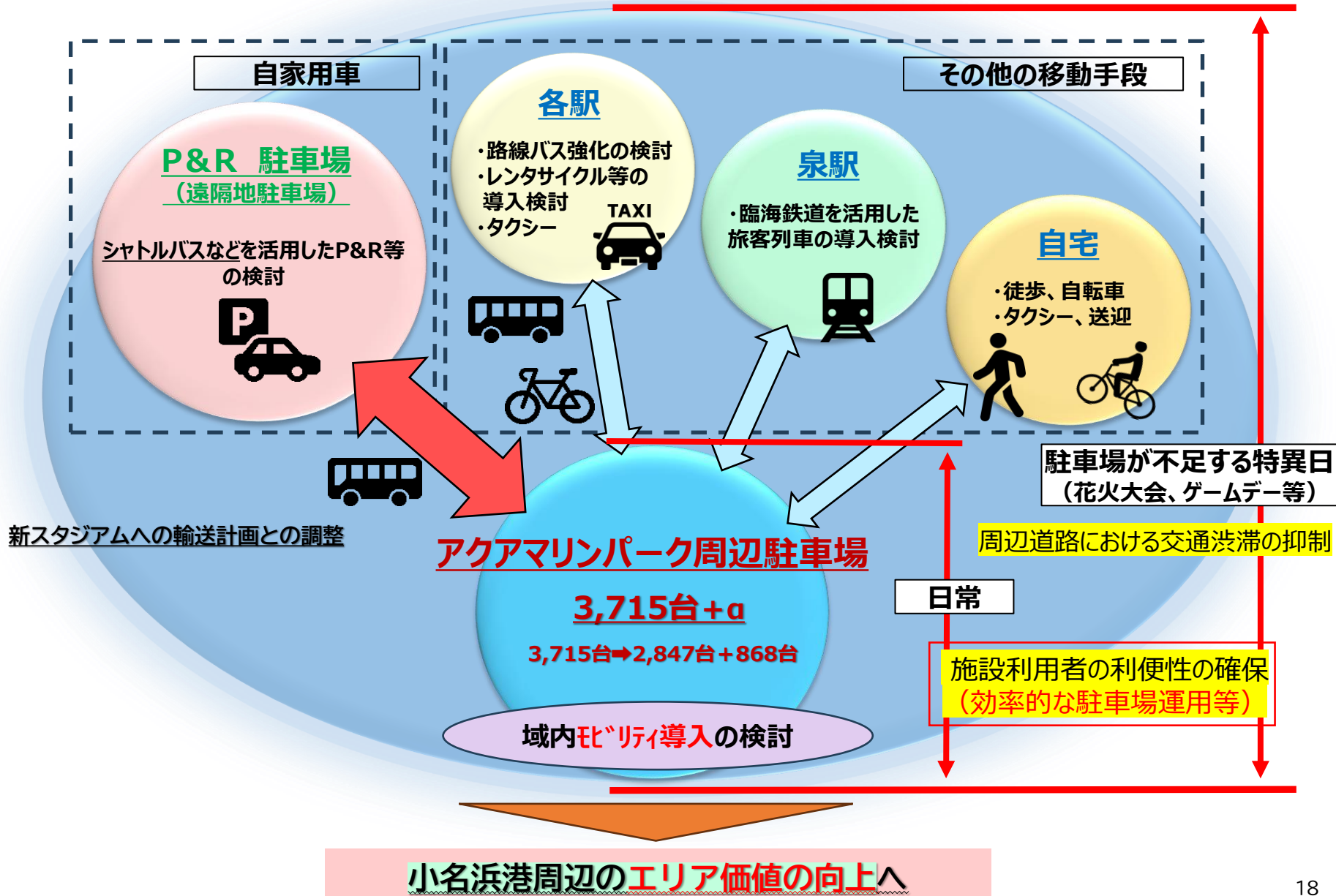
- ◆アクアマリンパーク内に整備する駐車場台数は、**3,715台（現状）+α（新スタジアムが日常的に利用される機能に相当）**とする
- ◆試合開催日に不足する駐車台数については、**隔地（臨時）駐車場やP&R**による対応を検討する
⇒シャトルバスの運行については、繁忙期や好カード開催日を中心に実現に向けた課題が多い
 - 各施設の回遊促進による**滞在時間の長時間化・シャトルバス利用者のピークカット**
 - 各施設を利用する**市民を中心とした公共交通の利用促進等、自動車総量低減の取組み** 等



3. アクアマリンパーク周辺における 交通対策の基本的な考え方



【アクアマリンパーク周辺における交通対策の基本的な考え方】





【アクアマリンパーク周辺における交通対策の基本的な考え方】

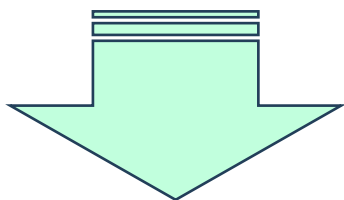
駐車場整備に係る基本的な考え方

【日常】

アクアマリンパーク周辺駐車場（2,847台）と代替駐車場（868台+α）で対応可能とする。

【駐車場が不足する特異日（花火大会、ゲームデー等）】

アクアマリンパーク周辺駐車場（2,847台）と代替駐車場（868台+α）に加え、シャトルバス（遠隔地駐車場）などを活用したP & R等を基本とする。



課 題

- 交通渋滞の抑制
- P & Rのための遠隔地駐車場の確保
- 特異日の輸送計画
- 来訪者の自動車分担率の低減
- 代替交通手段の確保
- 域内モビリティの導入
- 代替駐車場の整備場所の選定

■ 特異日におけるアクアマリンパーク周辺への移動手段

→ 交通渋滞や環境負荷への影響を最小限とするため、バスや鉄道、自転車、徒歩など、自動車以外の交通手段を最大限に活用することを目指していく。

■ 代替駐車場

→ アクアマリンパーク内または周辺に整備する。

検 討

- 遠隔地駐車場の検討
- 輸送計画の検討
- 来訪者の自動車分担率を減らすための施策（効率的な駐車場運用 など）
- 代替交通手段の検討（路線バスの強化、臨海鉄道を活用した旅客列車の導入検討、その他の移動手段 等）
- 域内交通の検討
- 土地所有者(代替駐車場)との合意形成と整備財源確保、役割分担



4. 津波避難対策について



4.1 アクアマリンパーク周辺における津波避難対策の検討方針

- ◆ピーク時期・ピーク時（特異日除く）での**現況での徒歩避難可能性を評価**。
- ◆新スタジアム整備後・**試合前後の時間帯で、新たに確保が必要な津波避難スペースの容量**を導出。

【アクアマリンパーク周辺における津波避難対策の検討方針】

- 新スタジアム候補箇所のある**1・2・3号ふ頭地区**を津波避難sim対象エリアとする。
- 人流データにより現状での滞在人口分布を把握、**現状ピーク時**（特異日；花火大会・元日は除く）での**徒歩避難可能性**を評価。
- 都市基盤整備時（3パターン程度）に想定される**試合前後時間帯の滞在人口を加えたピーク状態を設定し、徒歩避難可能性を評価**。
- 当該エリアで**全員徒歩避難するために必要な津波避難スペースの容量**を導出



イオンモールいわき小名浜

- ・24時間受入れ可能な津波避難ビル
- ・津波避難の場合は屋上駐車場へ
- ・土日祝日ピーク時滞留者数40百人超と周辺からの避難受入れ・従業員約10百人で50百人超

【検討条件】

- ・ピーク時避難者数(仮)：50百人超
- ・収容人数：3,348人（市との協定による）

いわき・ら・ら・ミュウ

- ・イオンモールに徒歩避難
- ・繁忙期に駐車場500台以上が埋まる、1台あたり3.5人程度想定
- ・従業員50人程度滞在

【検討条件】

- ・ピーク時避難者数(仮)：約18百人

アクアマリンふくしま

- ・イオンモールに徒歩避難、地震発生30分以降は3階展示スペースへ垂直避難
- ・最大の滞在客は、GW・夏休みで1,000人程度かもう少し多い印象

【検討条件】

- ・ピーク時避難者数(仮)：10百人超+従業員



避難施設



駐車場



港湾エリア



100 m

（資料：R6・R7ヒアリング調査結果（イオンモールいわき小名浜、いわきスポーツクラブ、アクアマリンふくしま、いわき・ら・ら・ミュウ）より）



4.1 アクアマリンパーク周辺における津波避難対策の検討方針

◆**現況及び新スタジアム整備後**について、以下のフローに基づき避難対策を検討。

【津波避難シミュレーションのフロー】

	現況	新スタジアム整備後
1. 検討条件の整理	・消防庁・国土交通省資料・いわき市資料・ヒアリング結果等により整理	
2. 避難者発生施設・エリア設定	・主要施設及び駐車場配置等を踏まえた任意設定	
3. 避難対象人数算定	・現況滞在者数＋人流データ	・現況の人数＋新スタジアム来訪者数
4. 緊急避難場所・人数の設定	・イオンモールいわき小名浜のみ	・現況の施設＋基盤整備パターン
5. 避難経路の設定	・現況の歩行者通行可能空間	・現況の通路＋基盤整備パターン
6. 避難先の設定	・最も早く徒歩避難が可能な避難先／収容可能人数を考慮して設定	
7. 避難シミュレーション計算	・各ゾーンから避難施設までの健常者・要支援者についての避難時間を算定	
8. 避難不可能人数の判定	・津波到達時間までに避難不可能なゾーン・人数／収容可能人数の超過分	
対策メニューの検討	—	・ハード整備・ソフト施策メニュー



【補足資料】避難対象人数の算定について

◆ピーク時期・ピーク時として、GW中(5/3～5)の14時台を対象に避難者数を算定。

【避難対象人数の算定】

人流データによる アクアマリンパーク全体の日別来訪者数

- 2024年度（2024年4月～2025年3月）



対象時期・時間帯の設定 (ピーク時期・時間帯)

- 5月3日～5日
- 14時台



補正係数（実数と人流 データによる比率）

- 2024年5月3日～5日の
各施設実績値に整合

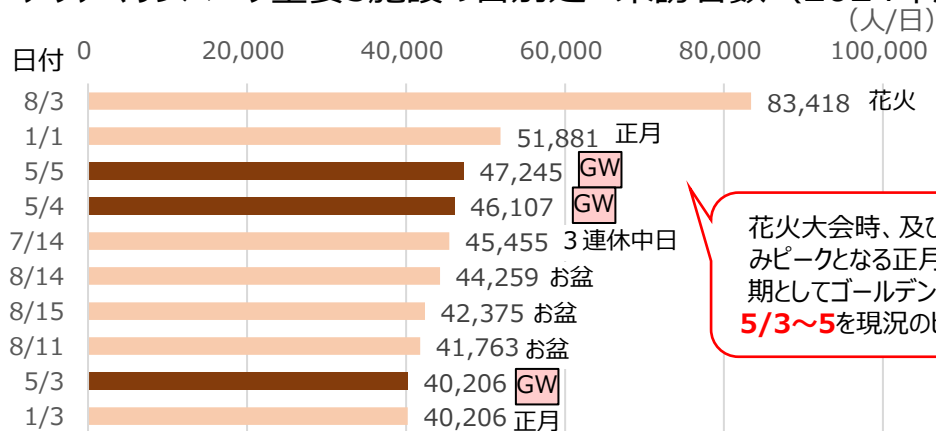
人流データによる ピーク時ゾーン別来訪者人口分布

- ピーク時期・時間帯の来訪者数比率(次頁)



ゾーン別避難対象人数

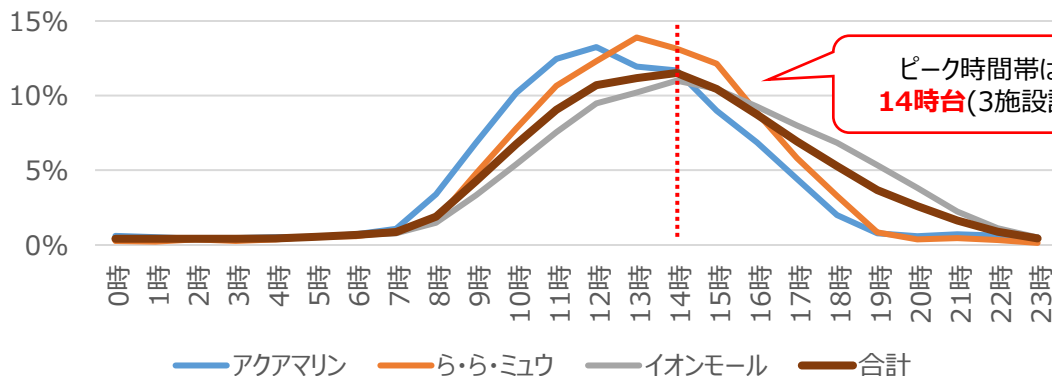
■ アクアマリンパーク主要3施設の日別延べ来訪者数（2024年度、上位10位）



花火大会時、及びイオンモールのみピークとなる正月を除くピーク時期としてゴールデンウィークのうちの5/3～5を現況のピークとして設定

(資料：マチレポ)

■ アクアマリンパーク主要施設のGW時間帯別来訪者数比率（2024年度）



(資料：マチレポ)



【補足資料】現況の検討条件について

- ◆ゾーニング：新スタジアム予定地、主要施設、及び駐車場配置等を踏まえて設定。
- ◆避難経路：現況では、すべてイオンモール南側デッキを渡り、避難階段により屋上に上がる経路に設定。

【ゾーニング・避難経路の設定（現況）】

